

1 学習習慣の定着を！

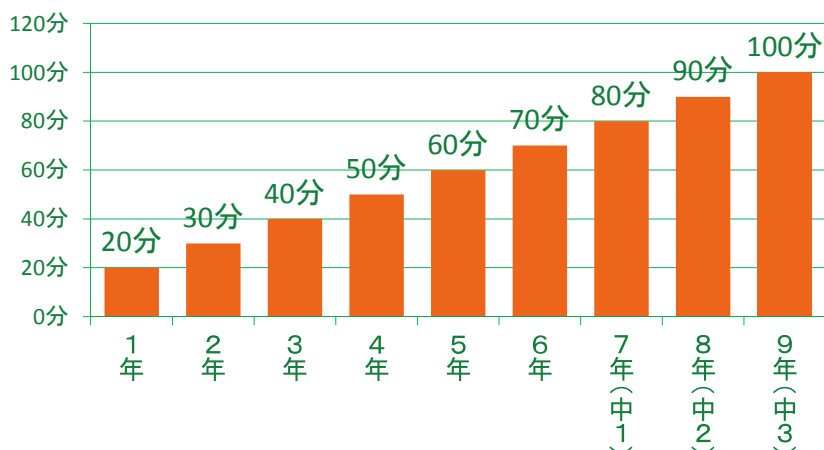


学年×10分+10分以上

※学年は、小・中学校を通じて義務教育9年間と考えて設定しました(中1→7学年、中2→8学年、中3→9学年)。
※この時間は、【宿題+家庭学習】に取り組む時間の目安です(学習塾や家庭教師を含みます)。

- 子どもたちが発達の段階に応じて無理なく学習習慣を身に付けることができるように、学年を追うごとに10分ずつ学習時間を増やしています。
- 【学年×10分】を基本とし、子どもの実態や学年等に応じて、【+10分】を努力目標として設定するといった工夫も考えられます。
- 中学校では、「学年×1時間」と設定している学校も既にあります。既に設定している時間を減らす必要はありませんが、小学校と連携して無理なく学習時間を増やしていく工夫が必要です。
- 土、日や、長期休業中も、自ら学習する習慣を身に付けることが大切です。そのため、例えば時間の目安を普段の2～3倍に設定するといった工夫も考えられます。

学習習慣の定着イメージ



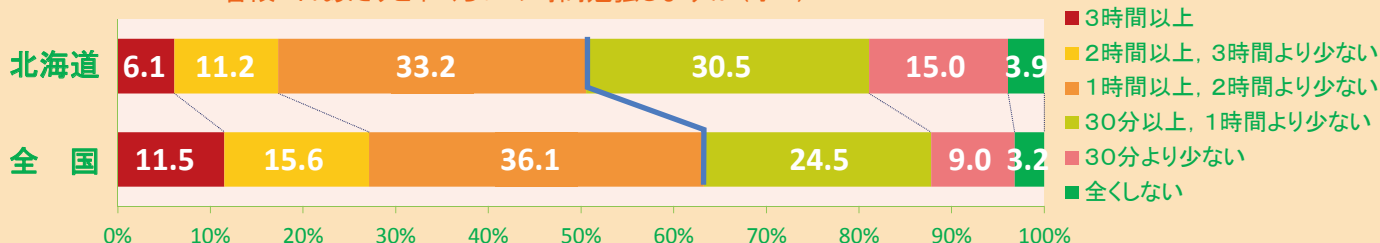
家庭学習では、学校で学習したことが確実に身に付くよう復習したり、興味のあることを進んで調べたりするなど、意欲的に取り組むことができる工夫が大切です。効果的な家庭学習の仕方について、先生と保護者で話し合ってみましょう。

中学校では、進学の準備なども必要になります。子どもの実態に応じて、目安に努力目標を加えることも考えられます。

本道の子どもたちの学習時間 ※1

- 1日当たり1時間以上勉強している子どもの割合が全国と比べて、小学6年生は12.7ポイント、中学3年生は6.5ポイント低く、学習習慣の定着を図る必要があります。

普段1日あたりどれくらいの時間勉強しますか(小6)



普段1日あたりどれくらいの時間勉強しますか(中3)

